



川口けいすけのグリーンス川越

46
since 2003

編集/発行 川越市議会議員 川口 啓介(無所属)

〒350-8601 川越市元町1-3-1 議員控え室 川越市役所6F

TEL 080-3025-5776 FAX 049-227-3810 E-mail mail@kawaguchi-keisuke.net

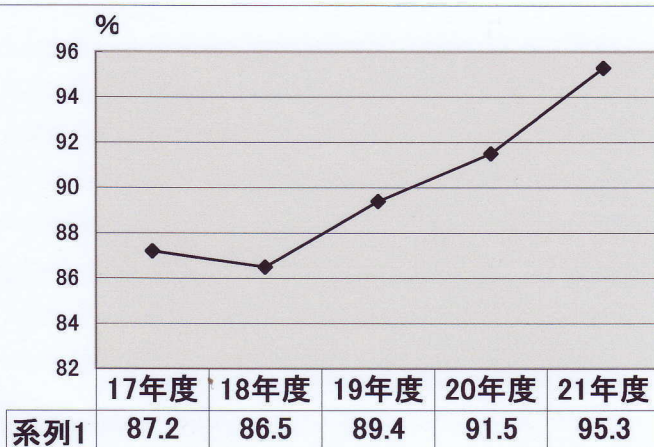
川越市のエンゲル係数は

21年度決算から

『経常収支比率』、これが地方財政のエンゲル係数と呼ばれている指標で、家庭でいうと、お給料から食費やローン、光熱費など経常的な出費に、どの程度充てているかを見ることが出来ます。低ければひくい程ゆとりがあり、100%になると経常的な出費でお給料が全て消えてしまっていることになります。

通常70%~80%が適正とされていますが、川越市では昨年度、95.3%になっています。

これが川越市の経常収支比率の推移



と、いうことは・・・

自由に使えるお金が僅かしか残らないので、例えば、道路や建物、公園など市独自に使うお金が少なくなったりするわけです。当然、新たな事業をやりたいと思っても難しくなります。家庭で言うと、「食べていくのがやっと」と表現すると分かりやすいでしょうか。

21年度は、景気悪化の影響などで市民税は大幅な減収となっており、これも経常収支比率の悪化に繋がっています。同時に、市税の滞納や回収不可能として処理した不能欠損処分件数も増えています。今年度も同じようにこうした傾向が予想され、より一層の効率的な行政運営と無駄の削減が必要不可欠です。限られたお金をどこに使うべきかが、今まさに問われています。

貯金が少し増えました

前々回44号で指摘した財政調整基金の積立金について9月議会にて約14億3千万円の補正予算が組まれ、これまでの約7億円から約21億円に増えました。まだ川越市の適正額とされる30億円以上までは行きませんが、**大幅な積み増し**となりました。7億円ではいかにも心もとなかったので、ようやく一息ついた格好です。

ただでさえ厳しい財政状況なのに貯金？と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、安定した行政運営を続けるには、何かあるかわからない今のような時こそ、**最低限の蓄えは必要**と考えます。市債残高はすでに900億円目前です。将来に付けを回す借金に頼らず、**何かの時**には貯金を崩して凌ぐようにしたいものです。

卸売市場の決算未計上金発覚！

9月議会において、川越総合卸売市場(株)から簿外の未収金がある旨の報告がありました。報告では、H6年の開設当初から青果、水産の両者会社とも経営内容が厳しく、開設間もなく市場使用料減額の要望書が提出されました。そしてH6年からH7年度分の使用料について、特別措置として協定書が取り交わされ、**施設面積割使用料の50%の延納を承認**、その後H14年度までの延納を承認しましたが、**なんとこれを決算書類には未収金として計上していませんでした！**現在は理由を含め不明点が多く、10月から11月にかけて第3者による調査委員会により調査を進め、12月中旬までに財務、法務の問題についてそれぞれ報告書が提出されることになりましたので、次号で報告します。